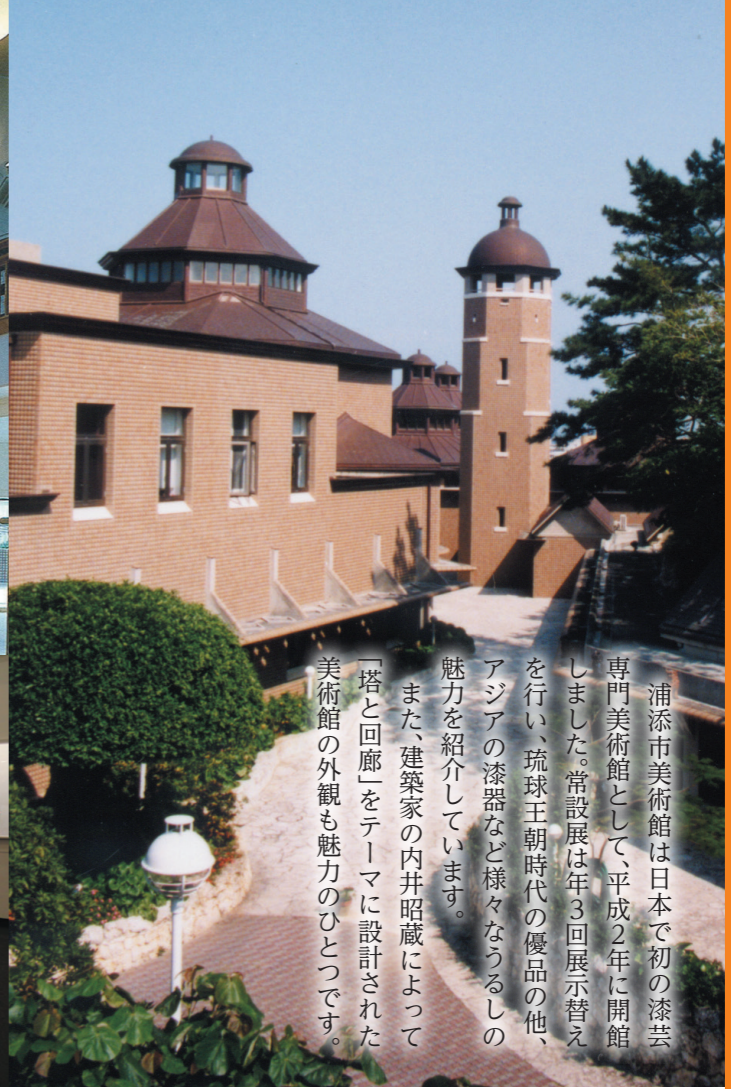


# 漆に出会う、浦添市美術館



浦添市美術館は日本で初の漆芸専門美術館として、平成2年に開設しました。常設展は年3回展示替えを行い、琉球王朝時代の優品の他、アジアの漆器など様々なもの魅力を紹介しています。また、建築家の内井昭蔵によって「塔と回廊」をテーマに設計された美術館の外観も魅力のひとつです。



## 琉球漆器の優品

浦添市美術館のコレクションの中心は、琉球王朝の文化を彩った優美な漆芸品です。さらに、近現代の沖縄で制作されたモダンな漆芸品も充実しています。



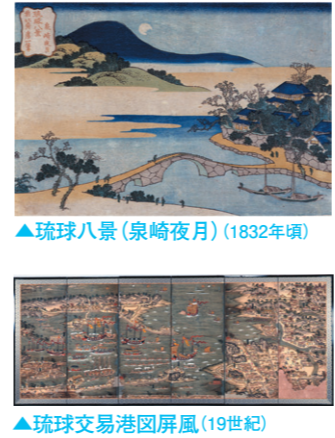
## アジア各地の漆器

漆の文化はアジア独特のもので、浦添市美術館では、琉球漆器だけでなくアジアの漆器も展示し、うるしの文化を多面的に紹介しています。



## 琉球王朝の文化 薫る絵画作品

浦添市美術館のコレクションは漆芸品だけではありません。19世紀中頃の首里城や那覇港とその周辺を描いた「琉球交易港図屏風」、浮世絵師の葛飾北斎が中国の書物を参考に琉球の名勝地8箇所を描いた「琉球八景(全八枚)など、王朝時代を感じる作品も見所です。



# スポーツでつながる「充実した環境」

経済的豊かさや自由時間の増大、高齢化の進展など社会環境が変化するなかで、健康・体力づくりや仲間づくりなどを目的に、日常生活において継続的にスポーツ・レクリエーションを実践する人々が増えてきています。本市では、学校体育施設の開放など、各種スポーツ・レクリエーション活動を支援するとともに、浦添運動公園を拠点とした体育施設の充実を図り、市民に広く利用されています。

# スポーツ施設案内



**市民体育館**  
トレーニング室や武道場を完備。



**陸上競技場**  
第3種公認の陸上競技場で、市内外を問わず幅広く利用されている。



**相撲場**  
市内の小中学生力士に多く利用され、毎年わんぱく相撲大会等も開催されている。



**市民球場**  
1万5千人が収容可能で、毎年2月には東京ヤクルトスワローズのキャンプが行われている。



**多目的屋外運動場**  
市民球場のサブグラウンドなど多目的に利用されている。



**多目的屋内運動場**  
人工芝の屋内運動施設。テニス、フットサル、3on3バスケット、ハンドボール等の設備あり。その他、レク等の利用も可。



**温水利用型健康運動施設「まじゅんらんど」**  
8種類のプールとミストサウナなどの設備あり。